

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和8年第18週（令和8年4月27日～令和8年5月3日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

今年県内1例目となる日本紅斑熱の報告がありました。本疾患は、病原体を保有するマダニに刺されることで感染します。潜伏期間は2～8日で、頭痛、全身倦怠感、高熱等を伴って発症します。春から秋は、特にマダニの活動が活発になるため、草むらや藪等、マダニが生息する場所に立ち入る際には、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用して肌の露出部分を少なくする、忌避剤を使用するなどして、マダニに刺されないようにすることが重要です。吸血中のマダニを見つけた場合は、無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科等）で処置（マダニの除去、洗浄等）をしましょう。マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状があった場合は、医療機関を受診してください。また、ペットを介して屋内にマダニが持ち込まれる場合もあることから、散歩の後等にペットにマダニがついていないか確認しましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	10	261	252	4,400
腸管出血性大腸菌感染症	2	32	50	627
日本紅斑熱	1	1	14	26
レジオネラ症	1	23	29	536
アメーバ赤痢	1	4	2	155
後天性免疫不全症候群	1	20	13	278
侵襲性肺炎球菌感染症	2	47	40	1,054
梅毒	8	225	187	3,502
百日咳	3	111	105	2,554

■ 定点把握疾患報告数

 : 警報

 : 注意報

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	53	0.43	1.23	2,528	0.68
インフルエンザ	26	0.21	0.55	2,295	0.61
急性呼吸器感染症	6,859	56.22	1.05	210,290	56.35
RSウイルス感染症	81	1.16	0.64	1,201	0.53
咽頭結膜熱	53	0.76	0.84	692	0.31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	352	5.03	0.91	7,282	3.23
感染性胃腸炎	318	4.54	0.76	12,073	5.35
水痘	47	0.67	0.92	861	0.38
手足口病	80	1.14	1.31	588	0.26
伝染性紅斑	2	0.03	1.00	189	0.08
突発性発しん	34	0.49	1.00	719	0.32
ヘルパンギーナ	24	0.34	2.00	131	0.06
流行性耳下腺炎	4	0.06	0.80	86	0.04
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	3	0.00
流行性角結膜炎	17	0.65	0.47	295	0.43
細菌性髄膜炎	1	0.07	-	7	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	-	22	0.05
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	0.00	76	0.16
クラミジア肺炎	0	0.00	-	3	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	0.00	41	0.09